



くろさかっこ

令和5年1月
黒坂保育園



あけまして
おめでとうございます

新しい年が、笑顔が沢山溢れる楽しい
年になりますようお祈り申し上げます。

謹んで新春のお慶びを
申し上げます

行事予定

1	日	元旦
2	月	
3	火	
4	水	保育始め・安全点検・園内清掃・エコ保育
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	英語教室（年中・年長児）・身体計測
12	木	スポーツ教室（年中・年長）
13	金	誕生会
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	清武小学校見学（年長児）・交通指導
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	太鼓教室（年長児）
24	火	
25	水	避難訓練（火災）
26	木	スポーツ教室（年少・年長）かるた大会
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	太鼓教室（年長児）

おもちつきをしたよ



お知らせ

～参観日について～

2月4日（土）を予定しております。
※詳細は、後日別紙にてお知らせ致します。



JA共済の地域貢献活動の一環として
沢山の絵本を頂きました☆



ありがとうございました

大切に読ませて
いただきます

給食だよ!

あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、ご家族で楽しく過ごされたことと思います。
 今月は、七草粥や鏡開きなど 1 月ならではの料理を楽しみましょう。園では、15 時のおやつに七草粥をします。ご家庭でも食べ物の由来の話などから、楽しい食卓の会話が広がると幸いです。



(食育目標) 行事食や伝統料理のいわれを伝える

○おせち料理

「お節句料理」が変化したものです。年に5回ある節句(桃の節句、端午の節句、七夕、重陽)を祝って食べる料理の中で、年の初めを祝って食べるおせちには様々な願い事の意味が込められています。

○七草がゆ

新春に摘むことができる七種の野草は「春の七草」といわれ、これらを入れた粥を食べると、お正月料理で疲れた胃腸を整え、1年間病気をしないといわれています。

★春の七草、言えるかな★

せり、なすな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ

※「すずな」はかぶ、「すずしろ」は大根で、お粥では葉の部分を使います。



◆知っているかな? おしょうがつのあそび◆

むかしから つたわる あそびが おしょうがつには たくさんあります。みんなは いくつわかるかな。



1



2



3

いっぱいあそんだあとは かぞくみんなで 1ねんの「けんこう」と「しあわせ」を ねがい おせちりょうりや おぞうに を たべましょう。



本年も、子どもたちにおいしく安全な給食を提供できるよう心を込めて作っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

こたえ 1=こまわし 2=たこあげ 3=はねつき

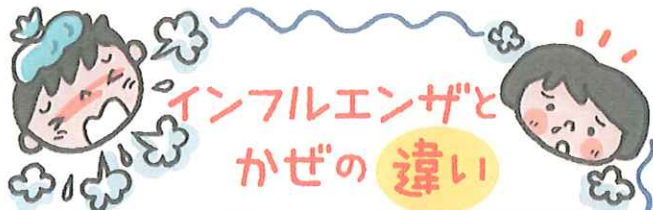


げんきだよ



清武社会福祉会
1月号

あけましておめでとうございます。年末年始のお休みはいかがでしたか？
不規則な生活習慣がついてしまった……というお子さんはいませんか？
毎日冷え込み、体調を崩しやすい時期です。気持ちも新たに、健康管理に留意しましょう。



インフルエンザ		かぜ
インフルエンザウイルス	原因	細菌、ウイルス
冬から春に多い	時期	一年を温して
全身症状	病気の始まり	鼻水、くしゃみ
39～40℃	熱	37～38℃くらい
大流行することも	伝染	多くの人にうつらない
手足や腰に強く出る	関節痛	ほとんどない
肺炎、気管支炎、インフルエンザ脳症 など	合併症	安静を守ればひどくならない



インフルエンザは、発症し5日を過ぎて、かつ、熱が下がってから3日を過ぎるまでは、園はお休みします

心配な インフルエンザ脳症

インフルエンザの合併症で特に気をつけたいのがインフルエンザ脳症。特に0、1、2歳児は発症しやすく、後遺症が残ったり、重症化すると命を落としたりすることもあります。万が一のような症状が見られたら、すぐに救急車を呼んでください。

こんな症状は脳症かも？

- インフルエンザを発症して1～2日後に突然高熱が出る
- けいれんが10分以上続く
- けいれんを繰り返す
- 呼びかけても反応しない、ぼーっとしている、目がうつろである
- すっと寝続けている



冬の肌荒れ対策

空気が乾燥する冬は、お肌も乾燥する季節。特に子どもは、肌のバリア機能が未発達のため、荒れやすいのです。日々のケアを心がけ、デリケートな肌を守りましょう。

外あそびや手洗いのあと、保湿クリームを塗る。



冬の寒風に地肌をさらさない



(長そで・長ズボンの着用)

感染症情報

清武町内では、新型コロナウイルス、感染性胃腸炎、ヒトメタニューモウイルス、ヘルパンギーナ、突発性発疹、水痘、プール熱がみられています。手洗い・うがいや手指の消毒をしインフルエンザなどの感染症や風邪から体を守りましょう。

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行も懸念されています。地域の感染症の情報を得ると共に感染予防にもつながりますので、テレビやインターネットの情報も活用するといいですね。